

Revorf

Revorf、和歌山県立医科大学との間で
間質性肺炎急性増悪の AI を用いた治療効果予測、予後予測に関する共同研究契約を締結

2021 年 12 月 13 日
株式会社 Revorf

株式会社 Revorf（本社：東京都中央区、代表取締役：末田伸一、以下「Revorf」）は、この度、公立大学法人和歌山県立医科大学（以下「和歌山医大」）との間で、間質性肺炎急性増悪の治療効果予測、予後予測に関する共同研究契約を締結いたしました。

間質性肺炎急性増悪の予後予測に関して、和歌山医大の保有する間質性肺炎患者のサイトカインやケモカインのデータを用いて、Revorf は機械学習を用いたその生体データ解析技術で間質性肺炎の予後予測因子の抽出と予後予測のモデルを作成します。

Revorf は、独自の mRNA や eRNA 等の RNA 検出解析技術と、医師兼エンジニアらによるデータ分析・AI 技術とを掛け合わせ、医療技術・創薬基盤手法の確立を目指しております。

Revorf は、引き続き企業や研究機関とともに、かかる医療技術・創薬基盤手法の革新を推進して参ります。

株式会社 Revorf

HP：<https://www.revorf.jp/>

本件に関するお問い合わせ先：information@revorf.com